

# 平成28年8月22日台風第9号 宮ヶ瀬ダムの効果

- 国土交通省関東地方整備局管理の宮ヶ瀬ダム(相模川水系)では、約1,662万m<sup>3</sup>の洪水を貯め込みました。
- 宮ヶ瀬ダムがなかった場合、はん濫危険水位を上回っていたと推定され、愛川町で避難勧告が発令された恐れがありました。

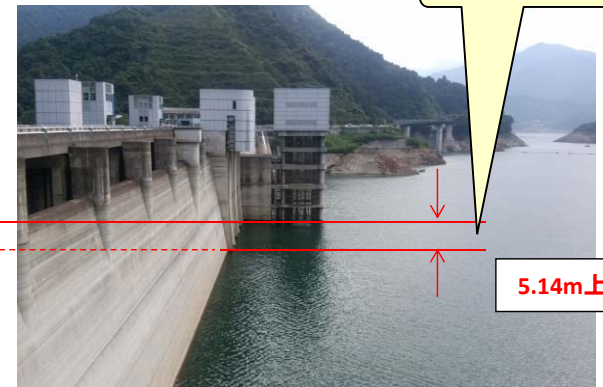
## 位置図



## 調節状況



調節前のダム湖



調節後のダム湖

## 出水状況



才戸橋付近

## ダムの効果

さいとばし  
宮ヶ瀬ダムで貯留することにより、ダム下流の才戸橋地点では、ダムが無いと仮定した場合の水位と比較して、約3.33m水位が低下していると推定されます。

**才戸橋地点で約3.33m水位を低下**

ダムの効果により  
氾濫危険水位を超える水位上昇を抑制



宮ヶ瀬ダムの洪水調節効果(才戸橋)

※図は状況を説明するため模式的に表現したものであり、実際の状況とは異なります。

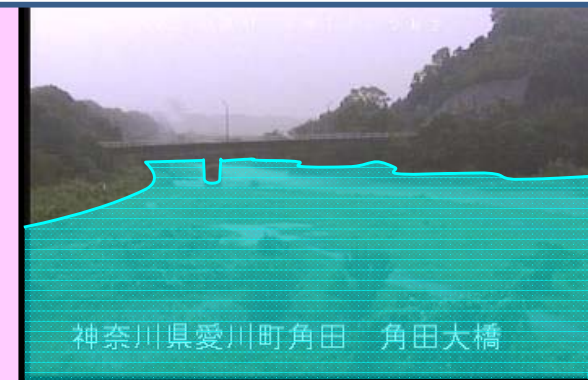
※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。

# 通常の川の様子

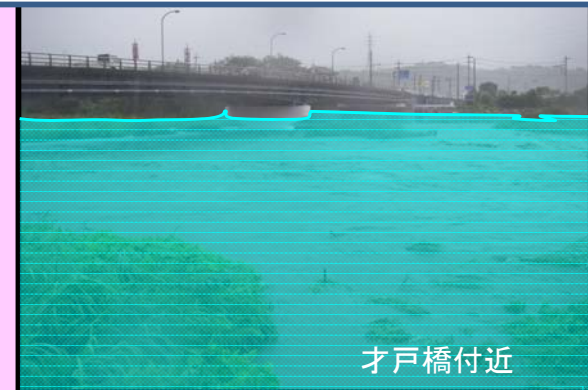
# 降雨ピーク時の様子

# 宮ヶ瀬ダムの貯留効果がなかった場合の想定水面

## 中津川下流狭窄部(角田大橋付近)



## 才戸橋付近



## 宮ヶ瀬ダムの影響のない道志川弁天橋付近



## 通常の湖面の様子



## 出水後の湖面の様子



## 通常の道志導水路吐口の様子



## 出水後道志導水路吐口の様子

